

「何のためのコード分析？ 分析して何になるの？」

未来へのパスポートを！

講師 樹原涼子



写真 満田聡

●コード分析の具体的手法 ダイジェストで解説

“The Four Seasons ベスト・セレクション”より

●コードと機能と和声との関連

コードネームは固有名詞

機能と和声は役割

●コード分析前後で、演奏がどのように変わるか

コードを感じている演奏、感じていない演奏の違い

機能を感じている演奏、感じていない演奏の違い

●実践 樹原涼子書き下ろし作品のコード分析

『こころの小箱』より 大空へ 他

『夢の中の夢』より 鏡 光る川 他

『ラプソディ第1番』（抜粋）

♪使用教材

「樹原涼子“The Four Seasons”ベスト・セレクション」

（ただ今制作中につき店頭にはありませんが、当日ご用意いたします）

ピアノ曲集「こころの小箱」（音楽之友社）

「夢の中の夢」（音楽之友社）

ピアノ連弾のための「ラプソディ第1番」（音楽之友社）

※当日会場でお求めいただけます

人の心を動かす演奏とは、どのようなものでしょうか？

きれいな音色、正確なタッチ、計算されたペダリング、ドライブ感…もちろんどれも必要ですが、そもそも、「どのような音楽であるか」を理解してから演奏したいものですね。では、どのような音楽かを理解するにはどうしたらよいのでしょうか？

みなさん、平仮名しか使わない文章は読みにくいと思いませんか？ 漢字が混じっていると、漢字の意味が目にとびこんできて、とても読みやすくなりますね。平仮名が音符、漢字がコードだと考えると、わかりやすいですね。音がいくつか重なって響くとき、それを“意味のある塊”と捉えることができるかどうか、和音に意味づけする力をつけていけば、平仮名ではなく、漢字でピアノが弾けるようになる！…と、考えてみましょう。

作曲家の考えを受け取るときに、和声変化の感受性なしによる演奏はあり得ないのではないかと。これからのピアノ学習者にとって、コードや機能を感じたり理解したりすることは、パスポートのようなものではないか、と思うのです。

クラシックの世界にコードの考え方をいち早く取り入れた教育を…と提唱してきましたが、そのことを、より具体的に音楽でお伝えします。ピアニスト、ピアノ指導者、音楽愛好家、ピアノを習うどの段階の方にも面白い内容を目指しています。耳と心を開いてお聴きいただければ幸いです。セミナー中、ミニレッスンをご覧ください。

しばらく絶版となっておりました『樹原涼子“The Four Seasons”ベスト・セレクション』を、樹原涼子のコード塾やコード勉強会で学びたい！と切望している方々のために、再版することになりました。この機会に、ピアノを愛するみなさんとともに、原点に帰ってみたいと思います。

コードは全く初めて、和声は苦手だった、きっとわからないから、知らないままでしょう…と思っている方、騙されたと思ってお出かけください。新しい、楽しい、ステキな世界がそこには広がっています！

当日は、ベヒシュタインのフルコンサートグランドピアノで、美しいコードの移ろいを味わっていただけたら幸いです。

2013年11月20日(水) 10:30~12:30 (受付10:00~)

会場：汐留 ベヒシュタイン・サロン ホール

(最寄駅：地下鉄大江戸線・ゆりかもめ 汐留駅/JR・地下鉄 新橋駅/JR・モノレール 浜松町駅/地下鉄浅草線 大門駅)

受講料：一般 ¥4,500 / ピアノランドメイト会員 ¥3,500

★予約・お問い合わせ：ピアノランドメイト事務局 TEL03-5742-7542/E-mail: info1@pianoland.co.jp

★振込先 加入者名：樹原涼子STUDIO 郵便振替：00120-3-753567